いつもチクタク動いている、学校にある大きな時計。ゼンマイを毎朝キチンと同じ時間に巻いている。毎時間、大きな音で時を告げている。しかし誰がこの時計のゼンマイを巻いてくれているのだろう。どうしても知りたくて朝早く学校へ登校してみた。すると、教頭の相守先生が朝一番に学校へ来て巻いていたのだった。

話に聞くと相守教頭先生とこの時計は、同じ年にこの学校へ着任したそうだ。そしてこの前、相守教頭先生の離任式が行われた。毎朝キチンとゼンマイを巻いてくれる人はこの３月で次の学校へと異動していく。誰がこれからこの時計のゼンマイを巻くのだろう。心配をしているとその着任式に金色に光るあのゼンマイを校長先生が長いクサリとともに首から提げているではないか。これからも大きな時計は、毎時間私たちに時を知らせてくれるだろう。